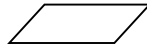


柱体の見取図・展開図

※方眼紙を使うことを前提にする。(垂直な線や平行な線が引き易い。)

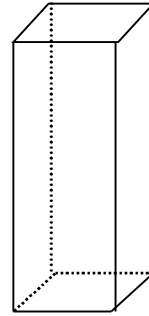
見取図

1. 上底をかく。
頂点が、たてに重ならないようにかく。



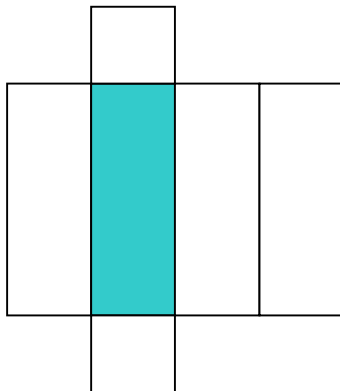
2. 頂点から同じ長さに「高さ」をとる。
見えないところは、点線でかく。

3. 下底をかく。
見えないところは、点線でかく。
下底からかき始めると点線でかく部分がわかりにくい。
だから、上底からかく。

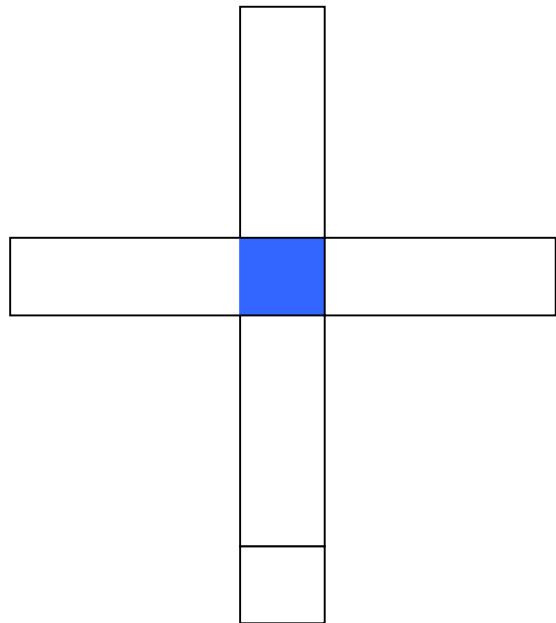


展開図

○側面を手のひらにおいて頭の中で展開して考える。
「手のひらに置く」=1つの面を固定するというのが目的。
底面を手のひらに置いて展開すると展開図としては、あまりよくない。



側面を固定した展開図



底面を固定した展開図

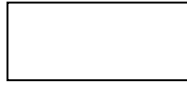
見取図も展開図も頭でイメージしたものをフリーハンドで簡単に
だいたいをかいてからそれを見て正確な図をかくようにすること
がたいせつである。

直方体・立方体の見取図・展開図

※方眼紙を使うことを前提にする。(垂直な線や平行な線が引き易い。)

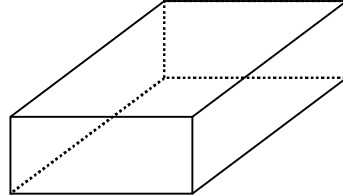
見取図

1. 前の四角形をかく。



2. 斜め後ろに同じ四角形をかく。
見えないところは、点線にする。

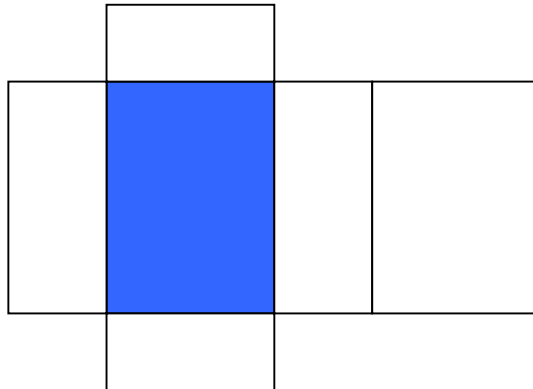
3. 頂点をつなぐ。
見えないところは、点線にする。



※斜めに引く線が、実際の長さより短かくすることが重要。特に立方体をかくときは、直方体に見えることがある。

展開図

- 底面を手のひらにおいて頭の中で展開して考える。
「手のひらに置く」=1つの面を固定するというのが目的。



見取図も展開図も頭でイメージしたものをフリーハンドで簡単に
だいたいをかいてからそれを見て正確な図をかくようにすること
がたいせつである。